



気象庁より18日、関東甲信、近畿、中国、東海の各地方で梅雨明けが発表されました。近畿は平年より1日早いそうです。先月は四国や九州など西日本を中心に深刻な水不足となりましたが、今月のまとまった雨でほぼ解消されたようです。

## 1. 「第4回産学官連携推進会議」に出席しました。

「第4回産学官連携推進会議」（主催：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、日本学術会議）が、6月25～26日に国立京都国際会館（京都市・左京区）で開催され、産学官やTLOなどから3300人以上が参加いたしました。本学も清水副学長他、産学官連携推進室スタッフ7名が参加いたしました。

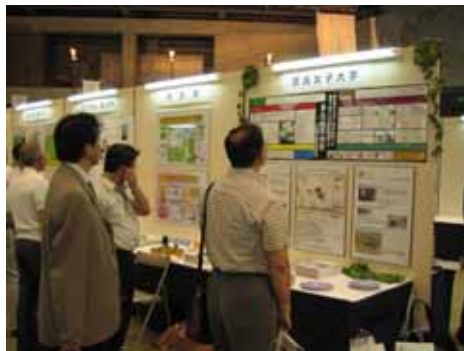


日本経済団体連合会副会長 庄山氏の「国際競争の激化、京都議定書にある環境と経済をどのようにリンクさせるかが一層重要視されるといった時代背景のなかで、人材育成がキーである」や、独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター長 生駒氏の「基礎学力の低下が懸念される。考える力を重視した教育が必要。産学連携は手段であって目的ではない。本来の目的は、大学発の革新技術による経済活性化である。」という発言が多くのパネリストから聞かれ、「産学官連携」という言葉が一人歩きし、共同研究案件の数や資金の増加だけに視点が移っていないかという議論が多かったようです。

産学官連携推進室では昨年引き続き、展示会の方にブース出展いたしました。土日ともに6月としては異例の暑さで、用意した「まんまるうちわ」があっという間になくなりました。うちわを手にとられてから「っえ？ どのうちわ？ Nara・・・ あっ 奈良女っか。 やっぱり女子大だからかなあー。気配りがいいね。」と会場全体にこの青紫色のうちわがぱたぱたとしていました。そして展示会ブースにもお立ち寄りいただき、「作戦成功」といったところですよ（この「まんまるうちわ」は、今月末のオープンキャンパスで入試課より配布されますし、留学生フェアでは国際課より配布される予定です。）。

また会場では例年どおり、4月の人事異動後の「挨拶」がそれぞれに行われ、本学ブース前でも新室長の清水副学長と経済産業局の方との名刺交換をはじめとして人の輪づくりが進められていました。

（清水、諸岡、大石、鍛冶、吉田、川村、小田原、藤野）



「まんまるうちわ」

平成16年度 大学等における産学連携等実施状況については、文部科学省より6月22日付けで報告されています。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/17/06/05062201.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/06/05062201.htm)

## 2. 会議とフォーラム出席報告

### 奈良県ものづくり産業活性化推進協議会

6月9日（木）に開催されました「奈良県ものづくり産業活性化推進協議会」に参加しました。奈良県商工労働部では、県内企業の活性化に向けて、平成17年3月に「なら産業活性化ビジョン」を策定されました。本推進協議会は、県内の企業や、大学、公設研究機関、経済関連団体など産学官関係機関の参加もとに、本ビジョンの先導プロジェクトの一つである「ものづくり新事業展開プロジェクト」の実現化を目指し立ち上げられたものです。

#### なら産業活性化ビジョン 産業活性化の重点テーマ

1. 健康福祉産業の育成
2. 環境ビジネスの育成
3. 観光産業の育成
4. 魅力ある商業空間の形成
5. ものづくり産業の活性化

協議会では、奈良県商工労働部長の奥田喜則氏、（社）奈良県工業会会長の柴田修氏、近畿経済産業局地域経済部長の山城宗久氏の挨拶があった後、奈良県商工労働部次長の小島義己氏の事業概要説明がありました。その後、本協議会発足を記念して、大阪大学・神戸大学名誉教授の岩田一明氏による基調講演「地域活性化とものづくり元気企業支援プロジェクト」があり、真夏を思わせる暑い日にもかかわらず、多数の方々が軽装で参加し、熱心に耳を傾けていました。（清水，吉田）

### 新長期ビジョン県民フォーラムin奈良

7月1日に奈良県学園前ホールで「新長期ビジョン県民フォーラムin奈良」が開かれました。奈良県立大学学長 神木哲男氏をコーディネーターとして、パネリスト（薬師寺管主 安田 暎胤氏、本学学生山田 素子氏、NPO法人奈良元気もんプロジェクト推進会議理事長 乾昌弘氏、奈良県知事 柿本 善也氏）4名と会場の方との討論が繰り広げられました。

奈良県新長期ビジョン「（仮称）新やまと（大和）21世紀ビジョン」素案については、奈良県新長期ビジョン策定事務局を中心として作成されているものです。「心の豊かさ」をキーワードに30年後の奈良県の姿を描き、会場の一般市民を交えて論議が行われておりましたが、閉会予定時間間際になっても質問が途絶えることなく関心の高さがうかがえました。（藤野）

### 平成17年度シーズ育成試験募集説明会及び京都・滋賀・奈良コーディネータ交流会

7月22日にJST研究成果活用プラザ京都（京大桂キャンパスに隣接）で平成17年度「シーズ育成試験」の募集説明会が行われました。本レターの次頁「各種公募案内」の2件目にて募集概要を載せております。当日は、京都・滋賀・奈良のコーディネータ等 約70名が出席するなか、新規事業である「シーズ育成試験」について質疑応答が小1時間続きました。今年度は募集時期が大幅に遅れたことにより、実質研究機関が5ヶ月程度となりますが、「ちょっと試作品を作りたい」などという場合にも気軽に応募してくださいとのことでした。費用上限は間接経費を含み200万円となっております。

今年度より、JSTでの管轄区分が、奈良県はJST京都となっております（昨年までは大阪）。また、先日JST研究成果活用プラザ京都より公募のありました「**実用化のための可能性試験**」（FS）では、奈良県で2件承認され1件が本学であると連絡いただきました。課題名までは「応募された先生にまずご連絡いたします。」ということで聞いておりませんが、楽しみです。

これからも先生方には、各種事業への応募を積極的に打診させていただきます。（藤野）

### 3. 各種公募案内 (3件)

#### 平成17年度第2回「産業技術研究助成事業」公募の開始

NEDO技術開発機構は、平成17年6月30日から8月31日までの間、平成17年度「産業技術研究助成事業」の助成対象研究テーマを公募いたします。本事業は、産業界のニーズや社会のニーズに応える産業技術シーズの発掘や産業技術研究人材の育成を図ることを目的として、大学・公的研究機関等の若手研究者個人や研究チームから広く研究テーマを募集し、優れた研究テーマに対し助成するものです。今回の公募は年2回の公募のうち2回目となります。

#### 事業概要

[1]ライフサイエンス分野 [2]情報通信分野 [3]環境分野 [4]ナノテクノロジー・材料分野  
[5]製造技術分野 [6]融合的・横断的・統合的分野 [7]エネルギー分野 [8]産業技術に関する社会科学分野

**助成期間**：原則 3年 (2年も可) (次年度以降の予算措置を前提としています。)

#### 助成金額

直接経費：研究開発期間が3年の場合、総額4,000万円以内、研究開発期間が2年の場合、総額3,000万円以内。ただし、「産業技術に関する社会科学分野」については、上記の金額の2分の1。

間接経費：直接経費の30%相当額

公募期間:平成17年6月30日から8月31日

#### 平成17年度シーズ育成試験募集

JST (理事長 沖村憲樹) では、各府省・大学 (知財本部・地共センター等)・地方自治体・独立行政法人・TLO等に配置されている各種コーディネータ等が発掘した大学等の研究シーズを育成するとともに、実用化に向けたコーディネート活動を支援する試験研究制度「シーズ育成試験」が今年度より新たに実施されます。

この制度は、大学等に所属する研究者とコーディネータ等が連名で申請書を作成し、コーディネータ等が申請するユニークな制度です。産学官連携コーディネーター (藤野) まで「応募したい!」というご連絡ください。また、コーディネーターからも「応募されませんか?」とお願いに伺うこともあります。よろしくお願いします。

#### 応募要件

大学等における研究者の研究成果に基づくもので、研究シーズの実用化、あるいは次の技術移転プロジェクトにつながる事が見込まれるなど、研究シーズの実用化に向けて試験研究を必要とする研究課題が対象となります。

#### 応募者の主な要件

研究者とコーディネータ等が連名で申請書を作成し、コーディネータ等が申請者となります。

この場合のコーディネータは、奈良女子大学コーディネーターでなくとも可能です。県外の方でも勿論結構です。

**試験研究費** 200万円を上限とします。(間接経費を含む)

**試験研究期間** 委託研究契約締結日から平成18年3月31日(金)まで  
委託契約締結日は、今年度10月中旬以降が想定されています(この事業が初回ということで各省庁間の調整に時間がかかったと説明を受けています。)

**採択予定課題件数** 500課題程度  
平成18年度は、現在1000件として予算要求資料を作成中とのことです。

公募期間:平成17年7月15日(金)~8月31日(水)(当日消印有効)

#### 第10回「安藤百福賞」募集

財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団『食創会』~新しい食品の創造・開発を奨める会~(会長・伊藤正男 理化学研究所 脳科学総合研究センター特別顧問)では、新しい食品の開発に貢献する独創的な基礎研究、食品開発、ベンチャーを対象とした「安藤百福賞」表彰事業を行っています。平成17年度/第10回「安藤百福賞」の募集が現在行われております。

公募期間:~平成17年10月31日(水)(当日消印有効)

[http://www.ando-zaidan.jp/html/syoku\\_03.html](http://www.ando-zaidan.jp/html/syoku_03.html)

## 4. 今後の予定

- 7月29日 平成17年度 第4回産学官連携推進室会議（学内会議）  
平成17年度 第1回大学連携推進実務者会議（近畿経済産業局）
- 8月5日 近畿地域食料産業クラスター形成シンポジウム  
主催(財)食品産業センター、近畿農政局
- 8月24日 元気城下町クラブ（18時01分～ 奈良ロイヤルホテル）
- 10月27 - 28日 南都銀行ビジネスフェア



## 5. コーディネーター お勧めイラスト

記念館や校章のイラストレータ用データあります。ご利用ください！！  
また、色の変更や、JPG、GIF ファイルなどへの変換なども行えます。  
(c-fujino@cc.nara-wu.ac.jp)



記念館



構内地図

奈良女子大学

大学正門より転写

